

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	ごみ焼却施設維持管理事業			事業コード	1423
担当課等	所属名	環境部 クリーンセンター	担当係名		
	課長名	田中茂行	担当者名	瀬川睦男	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	環境との共生	コード 6	施策	生活環境の保全	コード 1
	基本事業	環境衛生の確保	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 4款 2項 3目 ごみ焼却事業(005-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度 ⇒(開始年度 10年度～)					
事務事業の概要	可燃ごみの焼却を安全かつ安定的に行うため、ごみ焼却施設の保守点検を専門知識を有する業者に委託する。					
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条の2, 大気汚染防止法第1章第3条・第4条, 電気事業法第55条					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
<p>従来から自治事務として市町村がごみ処理を行ってきたが、昭和37年からごみ焼却施設でのごみ焼却を本格的に行うようになった。その後、増大するごみ量に対応するため、焼却施設の充実に努めてきたが、公害防止と施設更新のため、平成10年4月からクリーンセンターに一本化した。</p>						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
<p>クリーンセンター公害対策防止対策協議会において、環境にやさしい安全な操業が求められている。</p>						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
<p>社会が資源循環型社会形成に向けて動いていることから、今後ますます可燃ごみのリサイクルに向けた分別化が進み、ごみ焼却量が減少すると考えられる。また、環境保全及び公害防止に関する状況はますます厳しくなるものと予想され、排ガス基準の遵守は当然の責務として引き続き要求される。</p>						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	<input type="radio"/> 盛岡地域住民 <input type="radio"/> ごみ焼却施設	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 盛岡地域住民 B. ごみ焼却施設数 C.	単位 人 単位 施設 単位
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) ごみ焼却施設を安全かつ安定的に稼働させるため、又、損耗箇所を早期に把握し、突発的な故障を予防するとともに施設の運転計画及び中・長期的な施設の整備計画に反映させるため、次の観点から委託の範囲を決定し、委託を実施した。 ① 法的に定期的な整備が義務付けられているもの ② 物理的に機能を正常に保つため、定期的な点検整備が不可欠なもの ③ 自動制御の信頼性を保つため、定期的な点検調整が必要なもの ④ 残灰運搬等、定期的に業務が必要なもの 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 22年度に引き続き、必要な委託を継続して行い、施設の機能を保持する。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 委託契約数 B. 総委託契約額 C.	単位 件 単位 千円 単位
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	ごみ焼却施設を適正に機能させ、安全かつ安定した施設の稼働を実現する。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 1基以上の焼却炉停止を伴う故障発生件数 【指標の性格:○上げる ●下げる ○維持する】 B. 設備故障に起因する排ガス基準値超過回数 【指標の性格:○上げる ●下げる ○維持する】 C. 施設稼働率((実績稼働日数/計画稼働日数)×100) 【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】	単位 回 単位 回 単位 %
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	環境衛生が守られている	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	焼却処理施設での年間処理量(単位:t) 資源ごみ処理施設での年間処理量(単位:t) 粗大ごみ処理施設での年間処理量(単位:t) 生活公害に関する苦情件数(単位:件) 市営墓園利用率(市営墓園使用区画数/市営墓園墓地数)(単位:%)	

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	盛岡地域住民	人	230,044	229,770	229,770	229,756	229,756	229,756	24年度 229,756
対象 指標B	ごみ焼却施設数	施設	1	1	1	1	1	1	24年度 1
対象 指標C									年度
活動 指標A	委託契約数	件	18	19	20	20	18	18	24年度 18
活動 指標B	総委託契約額	千円	150375	159,032	168,614	166061	164957	164957	24年度 164957
活動 指標C									年度
成果 指標A	1以上の焼却炉停止を伴う故障発生件数	回	0	0	0	0	0	0	24年度 0
成果 指標B	設備故障に起因する排ガス基準値超過回数	回	0	0	0	0	0	0	24年度 0
成果 指標C	施設稼働率(実績稼働日数/計画稼働日数)×100)	%	100	100	100	100	100	100	24年度 100

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	163,061	159,032	168,614	166,061	164,957	164,957	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	163,061	159,032	168,614	166,061	164,957	164,957	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	163,061	159,032	168,614	166,061	164,957	164,957	*****
	延べ業務時間数	時間	710	660	660	660	660	660	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	2,840	2,640	2,640	2,640	2,640	2,640	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	165,901	161,672	171,254	168,701	167,597	167,597	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由:ごみ焼却施設設備機器の保守点検、整備、清掃、残灰運搬等を実施することによりごみ焼却施設の機能が保持され、ごみの適正処理が図られる。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由:ごみ処理は、自治体が義務として行う行政事務である。
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくていいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由:クリーンセンターは盛岡地域の住民が排出する可燃ごみを焼却する施設であり、既定のものであるため変更の余地はない。
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由:施設の機能を保持することは、施設維持管理の基本的事項であり、変更の余地はない。
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容:成果目標の完全な達成を当然の責務として求められており、成果そのものをこれ以上向上させることは不可能であるが、委託の内容をより充実させることにより施設の性能及び機能を効率よく維持することが可能となり、成果目標達成に係る信頼性の向上が図れる。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容:安全かつ安定的なごみ処理が出来なくなることにより、施策の目標を達成することが不可能となる。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由:
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 削減できない	その内容:現在の委託範囲は、法定あるいは施設の性能及び機能を維持するため最低限のものに限られており、これ以上範囲を削減すれば必要な点検整備が出来ない箇所が生じることになり、事業の目的を達成することが出来なくなる。各委託項目の積算及び見積審査方法をより精査することにより、契約額を削減できる可能性はある。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由:事務手続き以外は業務委託である。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:盛岡地域住民全での可燃ごみを受入れ、安全かつ安定した処理を行い適正であると判断される。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:施設の維持管理費用は、ごみ処理手数料の算定根拠のひとつになっており、受益者負担による適正化の余地はある。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること 代替案その1＝直営及び委託で行っている設備の点検清掃整備の事業量が施設の老朽化に伴い増加してきていることから、委託費用を増額すること無しに設備の維持管理を適正に行うためには、委託業務の範囲を拡充して全体的なコストダウンを図る。 代替案その2＝業者委託だけでは対応不可能な緊急時の対応及び施設の安全に直結する保守点検整備等については、必要最小限の直営人員を確保する。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 設備の性能及び機能を維持し且つ延命化するためには、予防的な対策に対する予算措置が必要であるが、現状では予算の増額は非常に厳しいことから、保守点検業務の見直しを鋭意進める。</p>
---------	---

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ② 有効性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ③ 効率性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり :</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>施設維持管理については、老朽化による突発的な故障を予防するため、損耗箇所を早期に把握し定期的な点検整備や保守に努め、施設機能と安定燃焼を確保してきた。</p>					
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="3"> <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携					
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止						
<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>現在の委託内容について、市自治体経営の方針に基づき見直しや検討を加えつつコスト意識を持って維持管理に努める。</p>							